

民生委員・児童委員はいつもあなたのそばにいます

稲枝民児協だより

2024年8月1日
第61号
発行
稲枝地区民生委員
児童委員協議会
編集：広報部

特集：認知症

2023年6月14日に成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」は、2024年1月1日から施行されました。2024年は、認知症にとって、共生社会実現に向けた大きな転換の年となります。

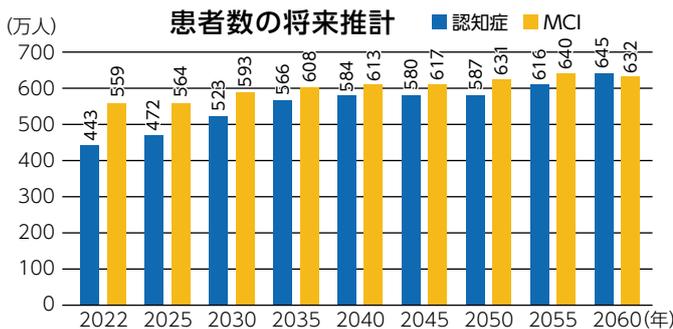
認知症は、正しく理解するとともに、早期に発見することが重要です。

「認知症」の現状

2022年、認知症の高齢者は443万人で有病率は12.3%でしたが、厚生労働省の研究班が2024年5月8日、団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年には、認知症を患う高齢者が584万人になるという推計を調査報告にまとめました。これは高齢者の14.9%で、6.7人に1人の割合になります。

また、物忘れなどの症状はあるものの、生活には支障がなく、認知症と診断されるまでには至らない「軽度認知障害（MCI）」の人の将来推計を初めて公表し、2040年には613万人になるとしています。

つまり、2040年には、認知症とその前段階の軽度認知障害（MCI）を合わせると、およそ3人に1人が認知機能にかかわる症状があることとなります。



(出典：認知症施策推進関係者会議資料をもとに作成)

「認知症」とは

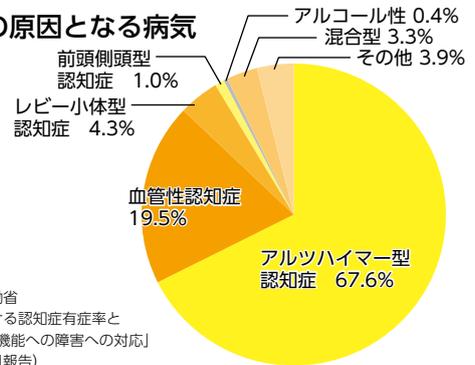
「認知症」とは、様々な脳の病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に低下し、認知機能（記憶、判断力など）が低下して、社会生活に支障をきたした状態をいいます。

認知症は、だれもがなりうる病気と考えられています。年をとればだれでも、思い出したいことがすぐに思い出せなかったり、新しいことを覚えるのが困難になったりしますが、「認知症」は、このような「加齢によるもの忘れ」とは違います。

(出典：政府広報オンライン)

認知症の原因

認知症の原因となる病気



出典：厚生労働省
「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能への障害への対応」
(平成25年5月報告)

「認知症」は、病名ではなく症候群です。認知症の原因となる病気には、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などがあります。認知症の原因として最も多いといわれているのはアルツハイマー型認知症です。

また、65歳未満で発症する認知症を「若年性認知症」と呼んでいます。若年性認知症の原因となる病気もやはりアルツハイマー型認知症が最も多いです。働き盛りの男性に多く、経済的な問題が大きいなど多くの課題があり、高齢者の認知症と違う支援が必要になります。

(出典：政府広報オンライン)

彦根市の取組

【彦根市メール配信システム

（行方不明高齢者等の搜索者情報）】

最近、認知症などにより高齢者が道に迷ったり、自分の家が分からなくなって保護されたり、行方不明になったりすることが増えています。彦根市では、高齢者の行方不明時の服装や身体的特徴等の情報を彦根市メール配信システム（行方不明高齢者の搜索者情報）で市民の皆さまに情報提供を呼びかけています。

行方不明になるおそれのある人の情報を事前に登録しておくことで、スピーディーに情報を配信することができます。

【見守り安心シール】

洋服に貼ることができるQRコード付きのシールです。

行方不明時に、発見者がシールのQRコードを読み取り「どこシル伝言版」にアクセスすると、ご家族にメールが送信され、連絡できます。

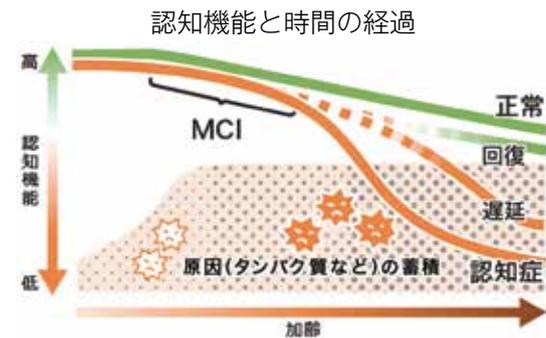
(出典：彦根市ホームページ)

軽度認知障害 (MCI) とは

健常者と認知症の中間にあたる、MCI (Mild Cognitive Impairment: 軽度認知障害) という段階があります。

MCIの定義

1. 本人または家族から記憶障害の訴えがある
2. 日常生活動作は正常
3. 全般的な認知機能は正常
4. 年齢や教育レベルの影響のみでは説明できない記憶障害が存在する
5. 認知症ではない



MCIを放置すると、認知機能の低下が続きます。MCIから認知症に症状が進展する人の割合は年平均で10%とされています。すなわち5年間で約40%の人は認知症へとステージが進行することになります。

MCIは、適切な治療・予防により回復したり、発症が遅れたりすることがあります。**早期に気づき、対策を行うことが大切です。**

(出典: 今井幸充監修「認知症を進ませない生活と看護」、認知症なっとく<https://info.ninchisho.net/>の資料より)

相談窓口

- 地域包括支援センターいなえ
電話: 0749-47-3320
月~金(祝日、年末年始を除く) 8:30~17:15
- 彦根市認知症HOTサポートセンター
電話: 0749-30-9601
月~金(祝日、年末年始を除く) 9:00~17:00
FAX: 0749-26-2500
E-mail: sumiclids@mocha.ocn.ne.jp
- 滋賀県若年認知症コールセンター
(若年認知症に関する相談も可能な相談窓口)
電話: 077-582-6032 (藤本クリニック内)
月~金(祝日、年末年始を除く)
9:00~13:30/14:30~17:30

当事者家族の声

母の認知症はこの5年の間に徐々に、ある時は加速するように進んでいました。

最初は、母が買い物に行くと家にあるのかかわらず同じものを何度も買ってしまったり、またある時は、トイレに行ってもウォシュレットの止めるボタンもわからなくなり、立ち上がってウォシュレットの水を浴びて服を水浸しにしていました。夜になると外に出かけなければならないと言って、玄関まででてしまい、徘徊の恐れまで、でてきていました。あとご飯食べる時も集中が切れてしまい、自分で食事を最後まで食べることができなくなっていました。

姉と私とで、母を介護していました。夜中の徘徊の恐れがあるので、玄関の近くで布団をひいて寝たり、夜中も3回ぐらい起きてトイレに連れて行ったりしました。私たち姉妹は自分たちの仕事もあり、母の介護と睡眠不足で体力の限界がきていました。

そのような中、地域包括支援センターとつながり、介護認定をうけました。母の状態を考えてケアマネジャーと相談できて、まずは家で受けられる食事やトイレの介助を受けるようになりました。母を見てくださる介護士の方がきてくださり、私たちもだいぶと助けられ心の余裕も生まれてきました。

認知症は家族だけで立ち向かうものではないです。介護される人も、介護する家族も気持ちや生活にも余裕をつくるためにも誰かに相談して欲しいです。近くの民生委員に相談して、専門の人につなげてもらうのもひとつの手段です。認知症になった家族と自分を大切にするために。(匿名希望)

子育て井戸端会議

無料・予約不要

(稲枝地区民生委員児童委員の子育て支援)

(会場: 稲枝支所北隣・南老人福祉センター)

毎月第2・第4金曜日(10:00~11:30)に開催。

0歳児から就学前までの親子が気軽に交流できる場所、子育てにホッと一息つける場所です。

- | | | | |
|-----------------|------|-----------|----------------|
| 8月 9日(金) | 自由遊び | 8月23日(金) | 親子ふれあい遊び(運動遊び) |
| 9月13日(金) | | 9月27日(金) | 人形劇のつどい |
| 10月11日(金) | | 10月25日(金) | 「ハロウィン」のつどい |
| 11月 8日(金) | | 11月22日(金) | 親子ヨガ |
| ※12/27(金)は休みです。 | | 12月13日(金) | クリスマスのつどい |



6月28日 七夕祭りに向けて